

令和6年度特別の教育課程の実施（英語活動）に係るアンケート結果について

【学校関係者評価】

数字の目安：4（よく思う） 3（そう思う） 2（あまり思わない） 1（まったく思わない）

	評価項目	4	3	2	1
(1)	本校は積極的に英語活動を推進している。	80%	20%	0%	0%
(2)	本校の児童は、英語活動の授業に意欲的に取り組んでいる。	80%	20%	0%	0%
(3)	英語活動の取組は、本校の目指す児童の育成に寄与している。	60%	40%	0%	0%
(4)	本校はALTを十分活用し、異文化理解を推進している。	80%	20%	0%	0%
(5)	本校の英語活動は、児童のコミュニケーション能力の育成に役立っている。	60%	20%	20%	0%

【自由記述】

- 小さいうちから英語を話すことで、ネイティブな発音を抵抗なく発音することが出来て羨ましいです。
- 英語の取組に関しては、今までよりも教師自身の評価が良かった点も考え、よく取り組めていると思います。朝の会や給食など授業外で、「今日の曜日」など、高学年はところどころに、簡単な英語で言わせて慣れ親しんでいただいても良いかもしれません。
- 英語の授業を参観した時に、とても楽しそうにしていました。英語と言うと、難しいとか苦手とかになりやすいので、楽しみながら授業をして、英語に馴染み、中学に行った時に、苦手という概念がなくなれば良いと思います。私は、学生の頃、英語は苦手意識があり、好きでは無かったです。楽しい授業を経験していたら、違っていたと思います。
- 今現在の授業風景を見ていると、子供たちが楽しく取り組んでいることが伝わります。しかし、4年生から5年生への、「コミュニケーション」から「学習」へ切り替わる際に、苦手意識をもってしまうお子さんも少なくないのでは?? そのフォローを、どのように取り組んでいるのか? というところが、わからなかったので、知りたいと思いました。